

第2回

東京学芸大学

次世代教育研究推進機構 (NGE)

シンポジウム

21世紀のコンピテンシーを 育成するための

指導・学習・評価のあり方とは？

— OECDとの協働による指導・学習モデルと新しい評価方法の実際 —

プロジェクトでは、OECDが注目する知識、汎用的スキルと態度・価値の3つの力を、小中学校でどのように育成するかの指導・学習モデルの開発を進め、同時にその評価方法の実際も明らかにしました。今年度でプロジェクトが終了となります。この機会に、今回のシンポジウムでは、多くの専門家の皆様にプロジェクトの成果と今後の展開についてご意見・ご指導を賜りたく存じます。

日時

2018
3/10 (土)

10:20 ▶ 17:30 (9:50開場)

会場

一橋講堂

(学術総合センター2階)

参加

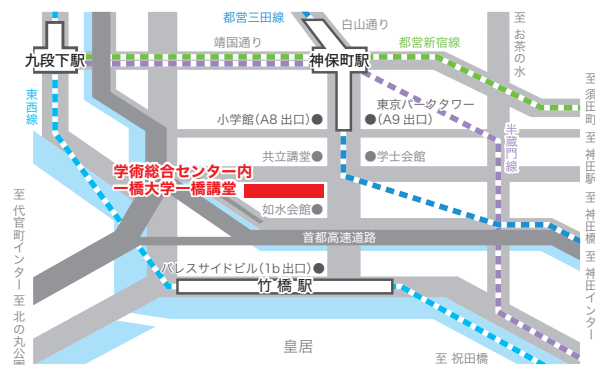
参加無料

参加申込みはWebから行います。

対象者：学校教員/教育委員会関係者/大学関係者



ACCESS MAP



〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内
■東京メトロ丸の内線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9出口) 徒歩4分
■東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分

記念講演

From Global Competence to National Success (仮題)

Andreas SCHLEICHER

アンドレアス・シュライヒャー

経済協力開発機構 (OECD) 教育・スキル局長

同時通訳あり

講演

パフォーマンス評価の考え方と進め方

— 資質・能力をどう育成するか —

西岡加名恵 京都大学大学院教育学研究科教授

全体討論

ディスカッション

21世紀のコンピテンシーを育成するための 指導・学習・評価のあり方とは？

- 討論者
- 田熊美保** 経済協力開発機構 (OECD) シニアアナリスト
 - 奈須正裕** 上智大学総合人間科学部教授
 - 西岡加名恵** 京都大学大学院教育学研究科教授
 - 平本正則** 横浜市立仲尾台中学校長

成果報告

ロビーにて公開

21世紀のコンピテンシー育成のためのオンライン動画サービス

「21CoDOMoS」デモンストレーション

宮澤芳光 (東京学芸大学助教) 中野幸夫 (東京学芸大学准教授) 宮内卓也 (東京学芸大学准教授)

主催 **東京学芸大学次世代教育研究推進機構**
(NGE : Next-Generation Education project)

後援 **東京都教育委員会**



お問い合わせ

東京学芸大学 次世代教育研究推進機構事務局

Tel : **042-329-7924**

メール : jisedai@u-gakugei.ac.jp

ホームページ : <http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai>

プログラム

全体統括司会：山田一美（東京学芸大学教授／プロジェクト統括教員：美術科教育）

第 1 部		開 会 挨 拶	
10:20 ▶ 10:30	開会挨拶 プロジェクトの取組と活動概要	出口利定（東京学芸大学長） 山田一美（東京学芸大学教授／プロジェクト統括教員：美術科教育）	
第 2 部		これからの評価のあり方を提案する	
		司会進行：関口貴裕（東京学芸大学准教授：認知心理）	
	講 演 パフォーマンス評価の考え方と進め方 — 資質・能力をどう育成するか — 西岡加名恵（京都大学大学院教育学研究科教授：教育評価）		
	成果報告		
10:30 ▼ 12:30	1. 資質・能力評価の現状と課題 2. 学習者中心の資質・能力と形成的評価を促す ルーブリックについての提案 3. ICTを活用した評価法の実際 4. 新しい評価方法の工夫：特別の教科 道徳 5. 新しい評価方法の工夫：特別活動 6. 成果へのコメント	関口貴裕（東京学芸大学准教授：認知心理） 梶井芳明（東京学芸大学准教授：教育心理） 鄭 谷心（琉球大学教育学部講師：教育評価） 宮澤芳光（東京学芸大学助教：教育工学） 森本康彦（東京学芸大学教授：教育工学） 永田繁雄（東京学芸大学教授：道徳教育） 松尾直博（東京学芸大学准教授：臨床心理） 杉森伸吉（東京学芸大学教授：社会心理） 林 尚示（東京学芸大学准教授：特別活動） 西岡加名恵（京都大学大学院教育学研究科教授：教育評価）	
12:30 ▶ 13:30		休 憩	
第 3 部		記 念 講 演	
13:30 ▶ 14:10	記念講演 From Global Competence to National Success (仮題) Andreas SCHLEICHER（アンドレアス・シュライヒャー）（経済協力開発機構（OECD）教育・スキル局長）		
14:10 ▶ 14:20		休 憩	
第 4 部		新しい授業のあり方を提案する	
14:20 ▼ 16:00	1. 活動の経緯と成果 2. 資質・能力をとらえる 3. 授業実践事例 【内容紹介】 ● 社会 上園悦史（東京学芸大学附属竹早中学校教諭） ● 体育 谷百合香（東京学芸大学附属世田谷中学校教諭） ● 家庭 菊地英明（東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭） 【結果紹介】 荒井正剛（東京学芸大学教授：社会科教育） 鈴木 聡（東京学芸大学准教授：体育科教育） 藤田智子（東京学芸大学准教授：家庭科教育）	鎌田正裕（東京学芸大学教授：理科教育） 柄本健太郎（東京学芸大学講師：教育心理） 西村德行（東京学芸大学准教授：美術科教育） 細川太輔（東京学芸大学准教授：国語科教育）	
16:00 ▶ 16:15		休 憩	
第 5 部		全 体 討 論	
16:15 ▼ 17:25	ディスカッション（21世紀のコンピテンシーを育成するための指導・学習・評価のあり方とは？） 討論者 田熊美保（経済協力開発機構（OECD）シニアアナリスト） 奈須正裕（上智大学総合人間科学部教授：教育方法） 西岡加名恵（京都大学大学院教育学研究科教授：教育評価） 平本正則（横浜市立仲尾台中学校長）		(50音順)
17:25 ▶ 17:30	閉会挨拶	岸 学（東京学芸大学特命教授 プロジェクトリーダー：教育心理）	松田恵示（東京学芸大学副学長）

参加申込み方法等

申込み方法 ホームページ (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai>) の「シンポジウム申込みフォーム」から、平成30年2月末日までにお申込みください。お申し込み順にお受けしますが、定員に達した場合はお断りすることがあります。

定 員 約450名

※シンポジウムの様子を広報用として撮影します。参加者の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。